

電気温水器

高圧力型
給湯専用

取扱説明書

時間帯別電灯／深夜電力(8時間)通電制御 切替式

ケイ エス エイチ

エム

KSH-30M192

ケイ エス エイチ

エム

KSH-37M192

ケイ エス エイチ

エム

エス

KSH-46M192S

「高圧力型とは」

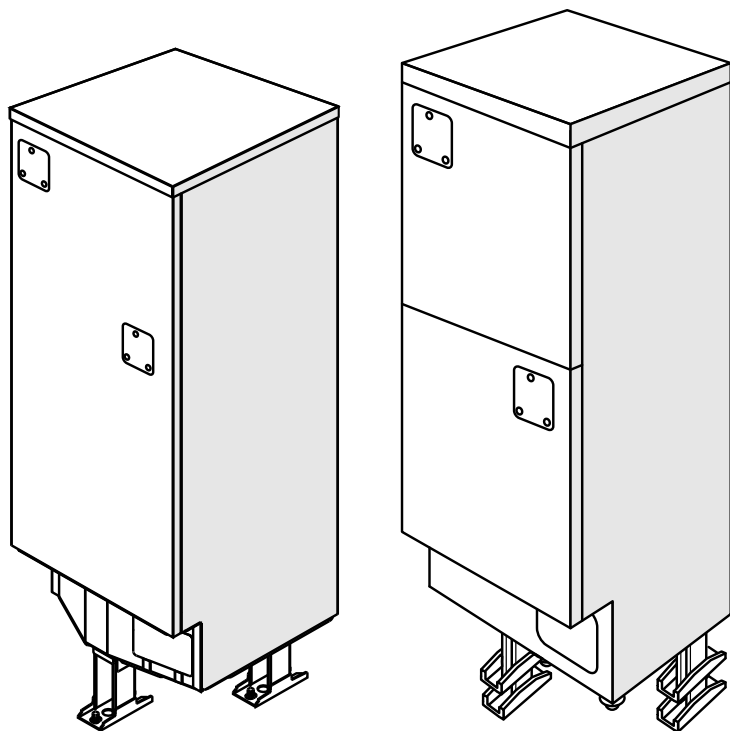
- 「高圧力型」は「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。(通常使用圧力：80kPa→170kPa)
- 1階に据付けて2階でも使えるようになりました。(3階でも手洗い程度であれば使用できます。)

高圧力型電気温水器(小型温水ボイラー)に関する法令として以下のものがあります。

- 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)
- 労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)
- 労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)
- ボイラー及び圧力容器安全規則(昭和47年労働省令第33号)

- 「高圧力型」を事業者様が事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の基準があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問合せください。(30ページ)の「事業者様へのご案内」を必ずお読みください。

もくじ



KSH-30M192
／KSH-37M192

KSH-46M192S

- *このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- *この商品を安全に正しくご使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解してください。
- *保証書は必ずお受け取りください。
- *お客様ご自身では据え付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談の上、申請を行なってください。(買い換え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。)



ページ	はじめに
1~5	はじめに
6~7	安全上のご注意
6~7	各部のなまえとはたらき
ページ	準備
8	準備
9	はじめてご使用になるとき
10~11	時刻合わせ
12	運転モードの設定
12	沸上げ温度の設定と湯温の表示
ページ	オプション設定
13~16	オプション設定
ページ	このようなききは
17	このようなききは
18	湯切れしそうなきは(強制沸増)
19	冬期の凍結予防について
20~21	数日間お湯を使用しないとき
22	長期間お湯を使用しないとき
23	非常用取水栓の使い方
24	停電したときや断水・水道工事が行われるとき
25~26	定期点検(有料)
27~29	お手入れと日常点検
30~33	故障かなと思ったとき
34	事業者様へのご案内
35	仕様
36~37	アフターサービス
36~37	時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定

1 はじめに

安全上のご注意

○ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明



表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	○は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

据付時・移設時・修理時のご注意

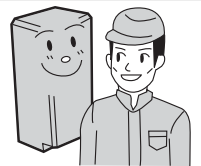
警告 (WARNING)



専用業者

●据え付けは販売店または工事店に依頼する。

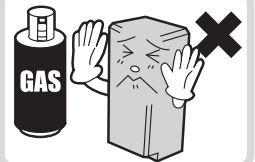
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



禁止

●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。

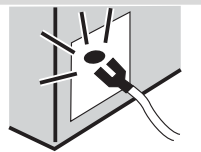
発火や火災になることがあります。



アース工事

●アース工事を確認する。

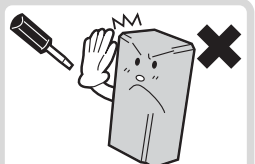
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。



禁止

●ご自分での修理・改造や再設置は行わない。

感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



⚠️ 注意 (CAUTION)



上水道

● 水道水を使用する。(井戸水は使用不可)

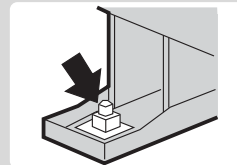
水質基準に適合しない水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では電気温水器の使用をお避けください。水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。



確認

● 電気温水器脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。

台風や地震のとき、電気温水器が倒れてけがをすることがあります。



禁止

● 塩害の恐れのある海岸付近や腐食性ガス発生のある温泉地には設置しない。

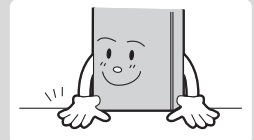
機器故障の原因になります。



確認

● 床面が防水・排水処理されているか確認する。

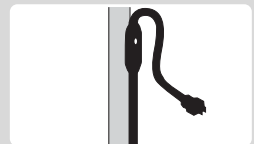
水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。



確認

● 配管の凍結防止対策を確認する。

凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



施工確認

● 電気温水器・メインリモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認すること。

火災・感電の原因になります。



施工確認

● メインリモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になる場所に取り付けられていないことを確認すること。

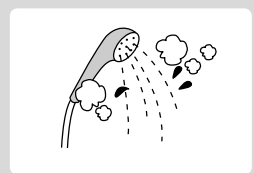
変色、変形、火災の原因になります。



確認

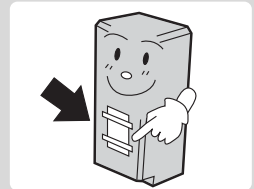
● シャワー水栓は必ずサーモスタット付き湯水混合栓を使用する。

サーモスタット付き湯水混合栓を使用しないと、やけどの原因になります。



説明書添付

● お使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される際には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください。



はじめて

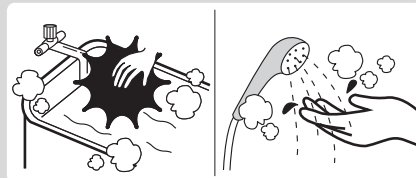
使用時のご注意

警告(WARNING)



確認

- 入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。
- お湯を使う前には湯温を確認する。
やけどをすることがあります。



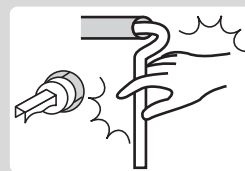
やけど注意

- 排水時および取水時にはお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。



やけど注意

- 負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。



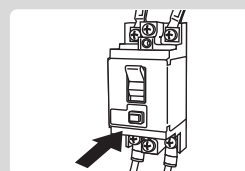
禁止

- 近くに可燃性ガスや引火物を置かない。
発火や火災になることがあります。



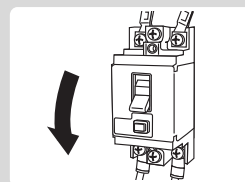
動作確認

- 漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
- 漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。



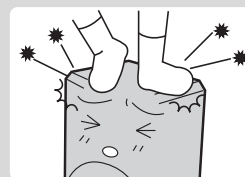
確認

- 異常時は漏電ブレーカの電源レバーを下げて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
- 漏電ブレーカを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。
感電することがあります。



禁止

- 電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。



やけど注意

- 給湯時は給湯栓本体に手を触れないこと。
やけどをすることがあります。
朝、最初に給湯栓を開くときに蒸気が吹き出ることがあります。
給湯栓は少しずつ開いてください。

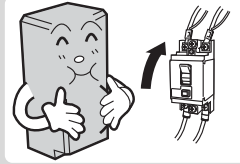


⚠️ 注意 (CAUTION)



満水確認

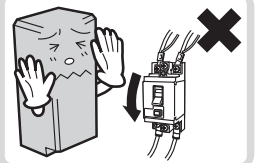
●電気温水器を満水にしてから電源を入れる。



禁止

●電源を「OFF」にしない。

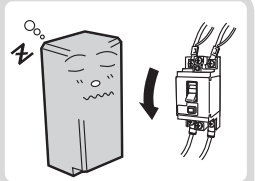
冬期は凍結して機器が破損することがありますので電源を「OFF」にしないでください。



電源確認

●1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。

排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。浴槽のお湯も排水してください。



カバーは閉

●電気温水器の点検ふたは閉じる。

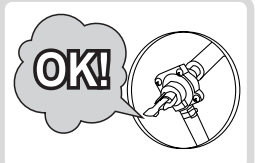
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



点検

●負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。

点検しないと電気温水器や配管が破損したり、負圧弁付圧力逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

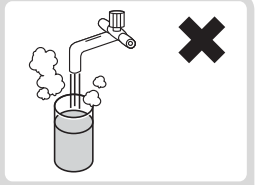


禁止

●飲用に用いない。

長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

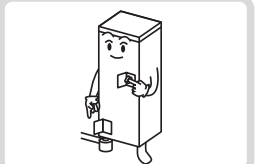
- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、直ちに点検の依頼を行ってください。



熱湯排水禁止

●電気温水器の熱湯は直接排水しないこと。

やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。



漏水点検

●水漏れを点検すること。

とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常点検をしてください。



はじめに

異常時の注意

 警告 (WARNING)



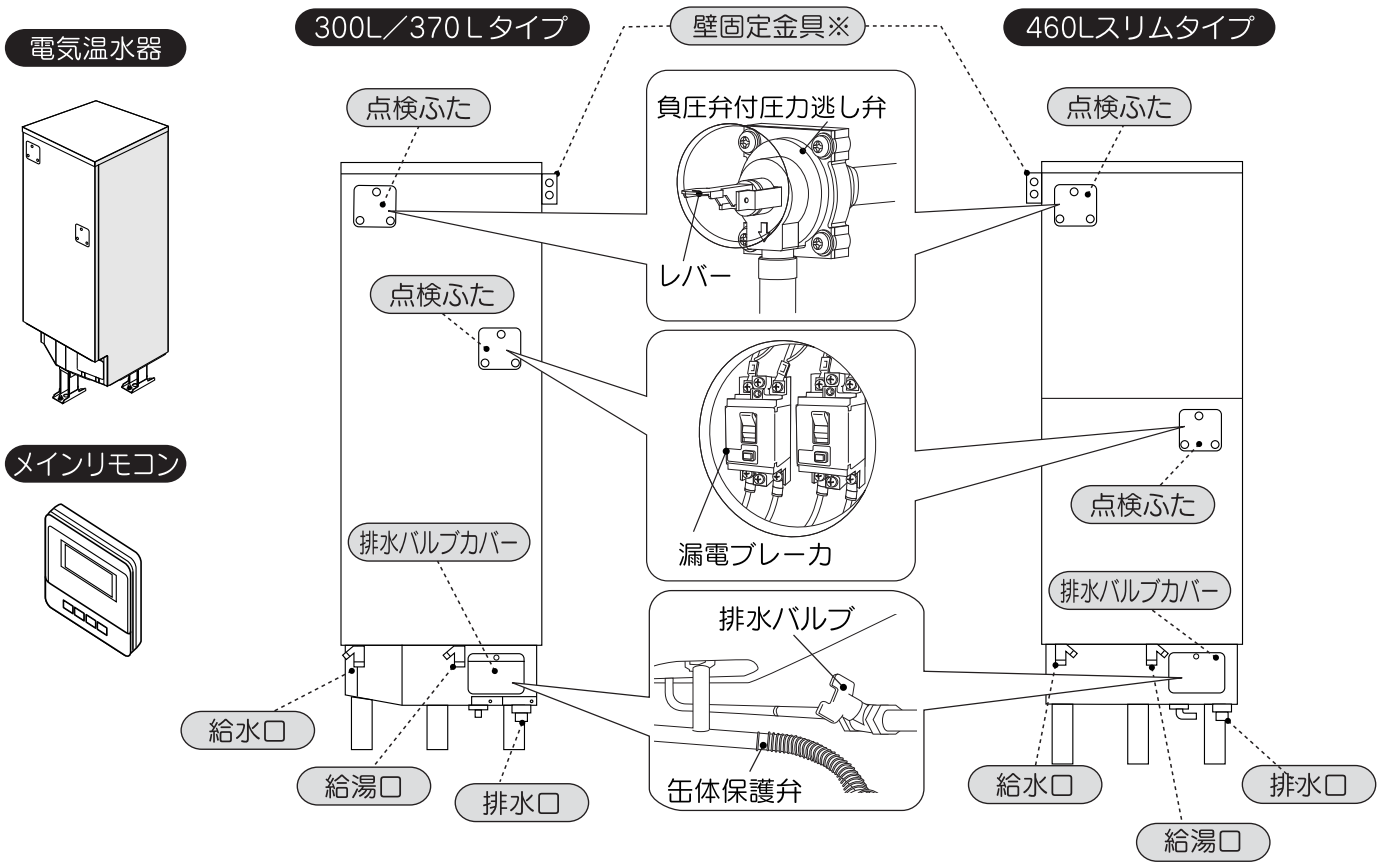
電源を切る

- 異常時（こげ臭い、缶体保護弁からの水漏れ等）は、漏電ブレーカのレバーをさげて電源を「OFF」にして、お買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談センターへ連絡すること。

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。

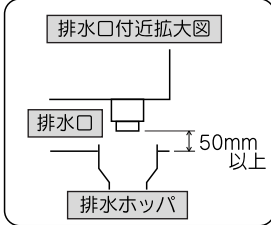
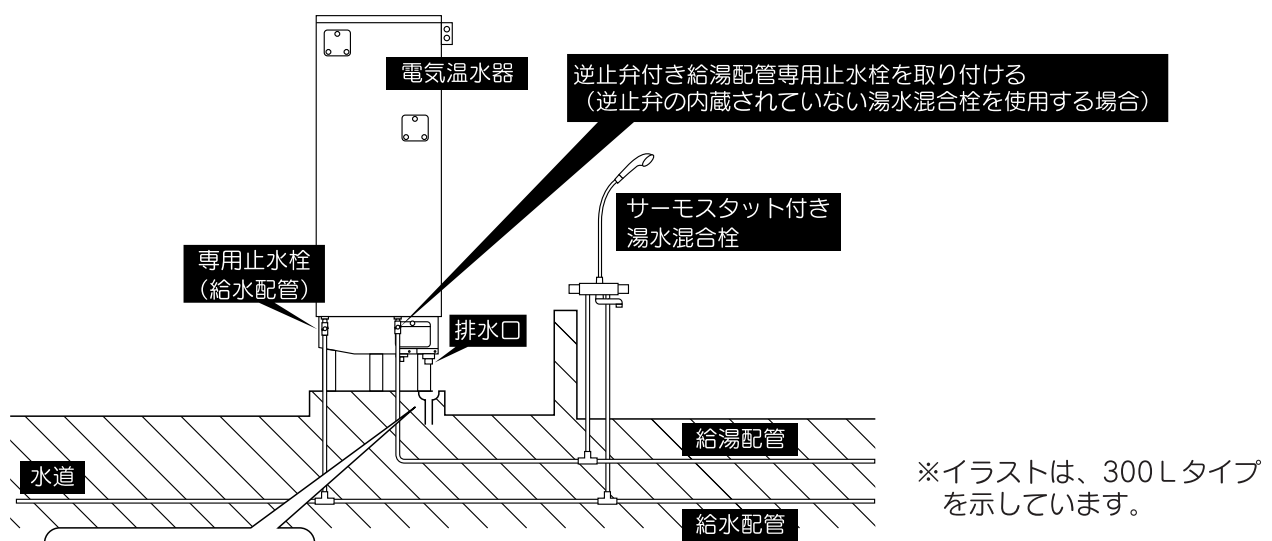


各部のなまえとはたらき



はじめに

システム全体の配管概要



お願い

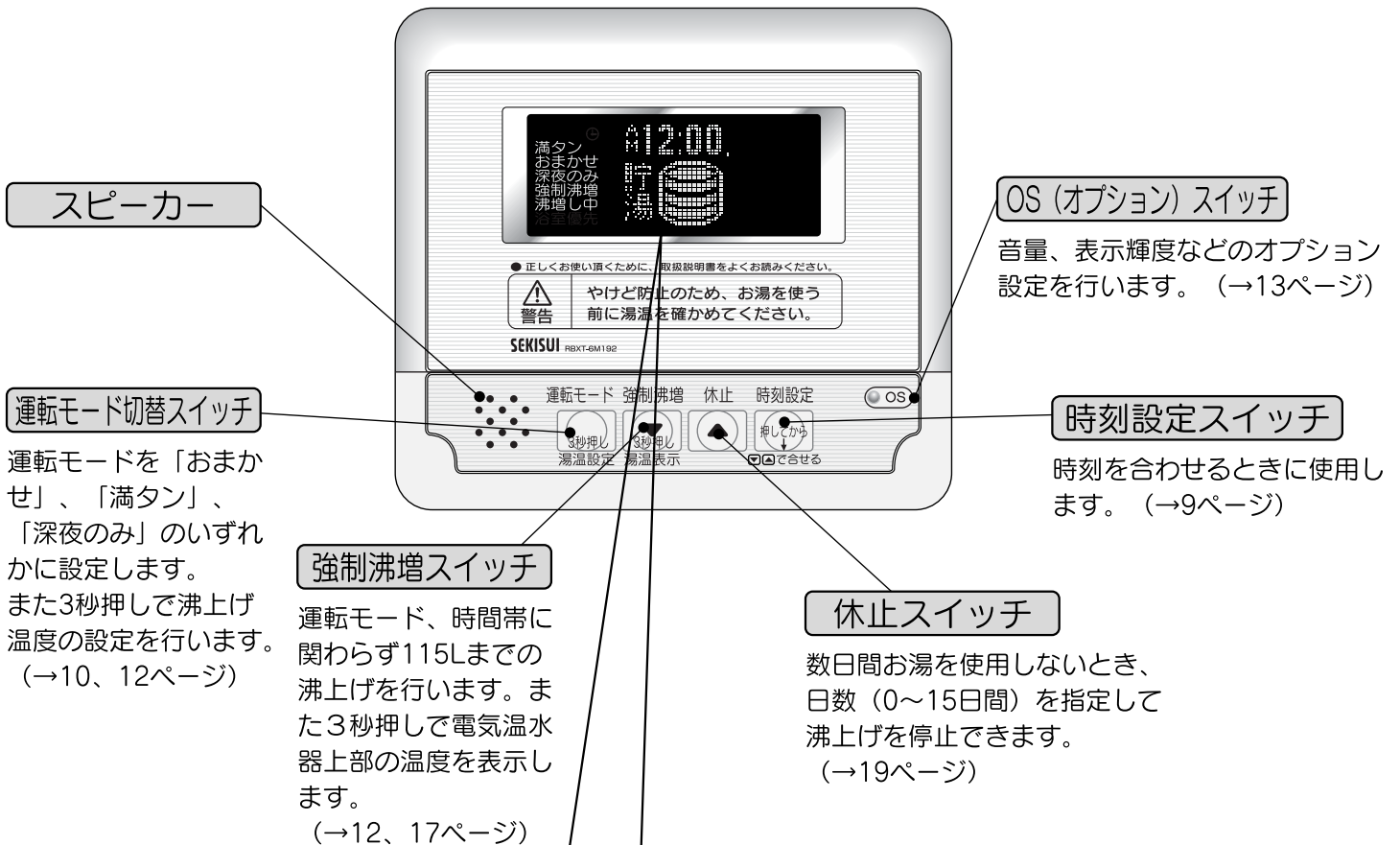
- 水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- 水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない混合栓を使用した場合は、負圧弁付圧力逃し弁よりお湯が排水される場合がありますので、逆止弁付き給湯配管専用止水栓を取り付けてください。

お知らせ

- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

メインリモコン

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。



運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。

強制沸増表示
強制沸増中に表示されます。

沸増し中表示
沸上げ動作中に表示されます。

時刻・使用再開日表示
・現在時刻を表示します。
・休止設定時は使用再開までの日数が表示されます。

貯湯量表示
バー表示で貯湯量を表示します。
・約50L未満では残湯量少表示が点灯します。
・約20L未満では残湯量少表示が点滅します。

お願い

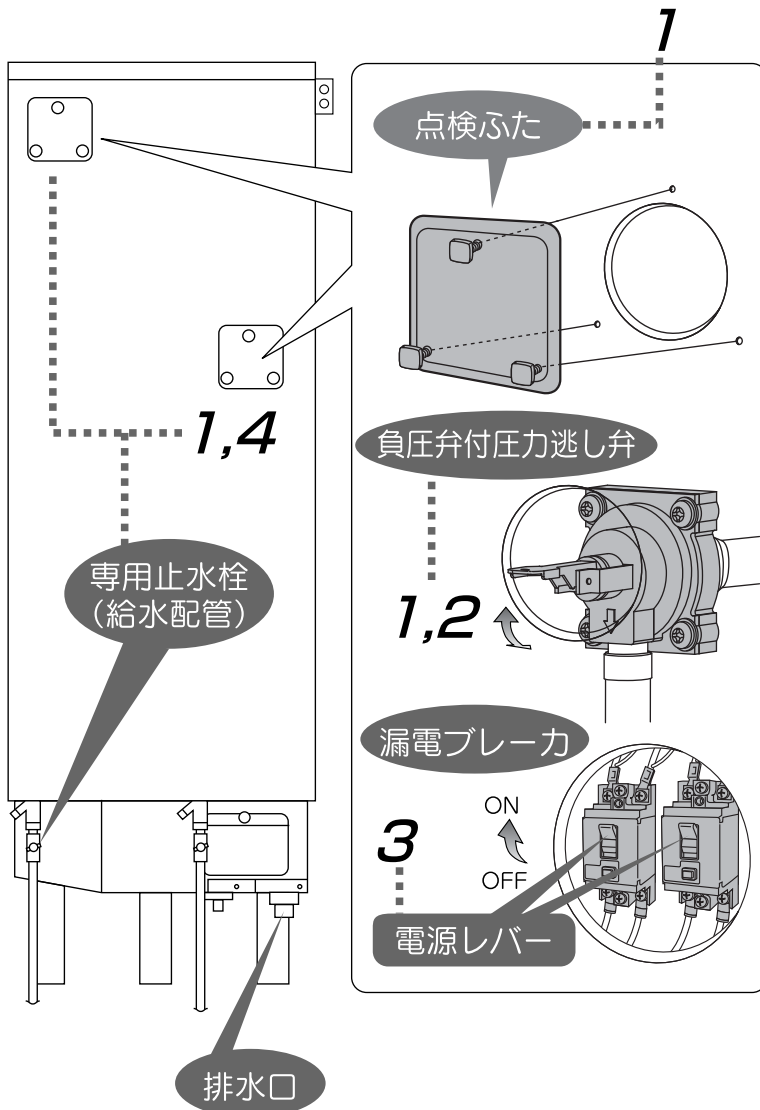
●メインリモコンに水をかけないでください。

防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

2 準備

はじめてご使用になるとき

○電気温水器を満水にし、電源を入れます。



1. 電気温水器の点検ふた2箇所をはずし、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを上げ、専用止水栓（給水配管）を開きます。

●電気温水器に水を入れます。

2. 電気温水器が満水になったら、負圧弁付圧力逃し弁のレバーを戻します。

- 排水口から水が出てきたら満水です。
- 満水までの目安は約30分です。
- 給湯配管内の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開きます（1箇所）。空気が抜けたら、蛇口を閉じてください。（参考図参照）

3. 200V電源ブレーカを「入」にし、漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。

⚠警告

- ぬれた手で電源レバーを操作しない。レバー以外には手を触れない。感電の恐れがあります。

⚠注意

- 電気温水器を満水にしてから電源を入れます。満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

4. 電気温水器の点検ふたを元どおり取り付けます。

*イラストは、300L/370Lタイプを表しています。
460Lスリムタイプの各部品の詳細位置は6ページを参照ください。

〈参考図〉

給湯配管の空気を抜くために、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1箇所）

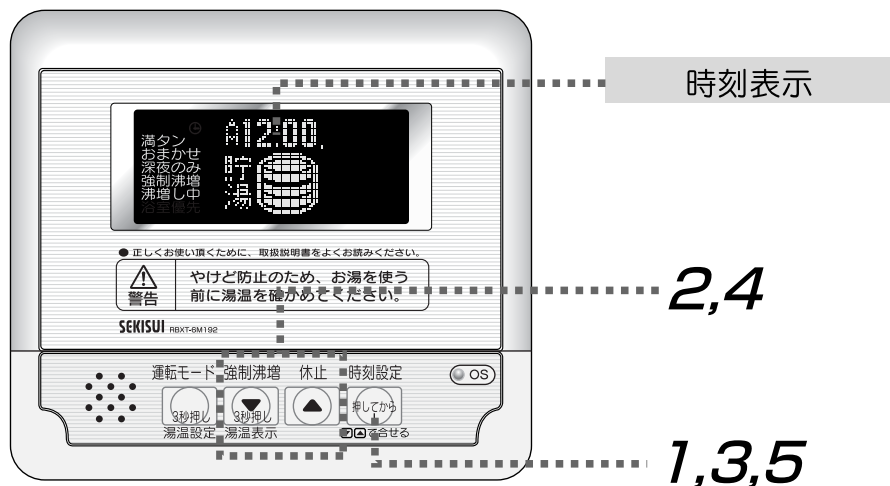
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。



（空気が抜けたら蛇口を閉じてください。）

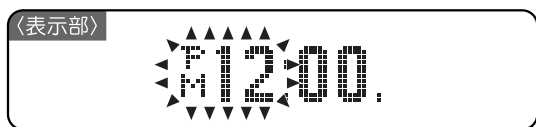
時刻合わせ

- 現在時刻の設定をします。
- 「時間帯別電灯」でご契約のお客様は設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。停電などで時刻が「-：-」バー表示のままでは、自動沸上げができません。



1. を押します。

- 「時」が点滅します。



お知らせ

- 時刻の設定中（表示点滅中）に10秒以上スイッチが押されないとその時の表示時間で設定されます。

2. を押し「時」を合わせます。

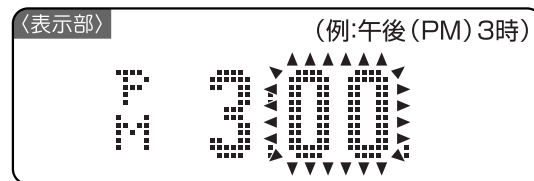
- を押しと1時間ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1時間ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

お知らせ

- 時刻は12時間表示です。
昼の12時は「PM12：00」を、
夜の12時は「AM12：00」を表示します。

3. を押します。

- 「時」が設定され、「分」が点滅します。



4. を押し「分」を合わせます。

- を押しと1分ずつ進みます。
(押し続けると連続して進みます。)
- を押しと1分ずつ戻ります。
(押し続けると連続して戻ります。)

5. を押します。

- 時刻が確定し通常の表示に変わり、時刻設定が完了します。

お願い

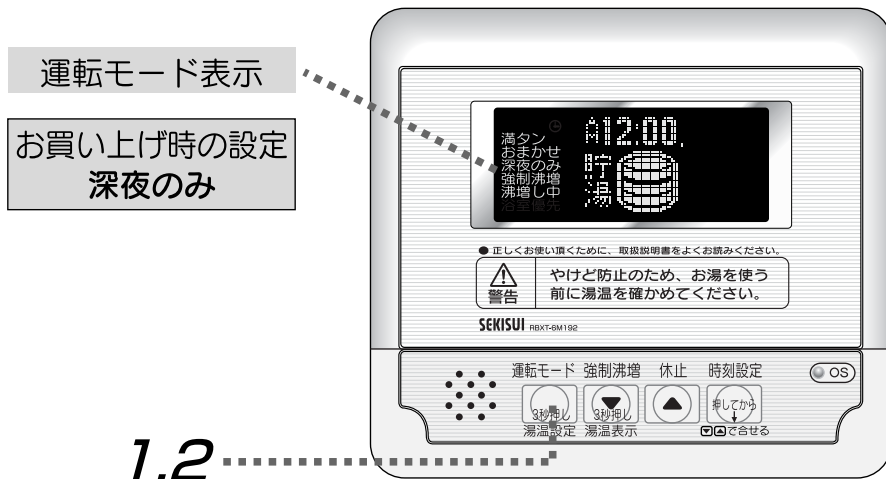
- 約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「-：-」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

運転モードの設定

○ご使用湯量に合わせて、運転モードを設定することができます。

○通常は「深夜のみ」モードとなっています。

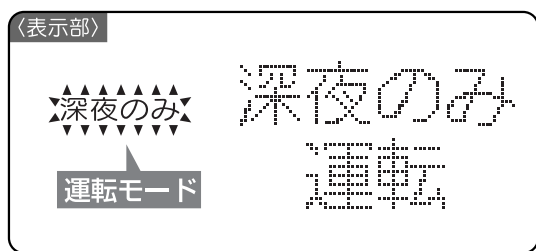
(運転モードの設定は「時間帯別電灯」でご契約のお客様がご利用できる機能です。「深夜電力」でご契約のお客様には、「おまかせ」モードと「満タン」モードはご利用できません。)




1,2

1.  を押します。

●現在設定されている運転モードが点滅します。



2.  を押し、運転モードを切り替えます。

● を押すごとに運転モードが切り替わり、表示が点滅します。



運転モード	沸上げ方法 (使用場面)
おまかせ	お湯の使用量が多いときは、昼間時間帯に沸増を行います。
深夜のみ	深夜時間帯のみ、沸上げを行います。
満タン	300 Lタイプは貯湯量が約260 L以下になると、満タンになるまで沸上げを行います。【370 Lタイプは330 L以下】 【460 Lスリムタイプは400 L以下】 (多量のお湯を連続して使用されるとき)

3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

●点滅している運転モードで設定され、通常の表示に戻ります。

ご参考

●運転モードの違いは次のようになっています。

運転モード	深夜以外の沸上げについて
おまかせ	湯切れを起こしにくくするために、自動的に次の沸上げを行います。 ・深夜時間帯終了から2時間までは満タンになるまで沸上げて湯量を確保し、その後は貯湯量が50L未満になると115Lまで沸上げます。 (毎日、継続して沸上げます。) ・この場合、昼間の電力で沸上げを行なうので、電気料金が割高になります。 (急な来客などで湯切れの心配があるときは、強制沸増を使用してください。)
深夜のみ	・深夜以外で自動的な沸上げは行いません。 (急な来客などで湯切れの心配があるときは、強制沸増を使用してください。)
満タン	・300 Lタイプは貯湯量が約260 L以下になると、満タンまで沸上げを行います。 【370 Lタイプは330 L以下】 【460 Lスリムタイプは400 L以下】 ・設定されたその日の23時頃になると、自動的に満タンモードを解除し、設定前の運転モードに戻ります。 ・この場合、昼間の電力で沸上げを行うので電気料金が割高になります。
強制沸増	・115Lまで沸上げたら、沸増は終了します。

準備

運転モードの設定

お知らせ

貯湯量表示について

○メインリモコンの貯湯量表示は次のようになっています。
(貯湯量とは約50℃以上のお湯の量です。)

バー表示	 点滅	 点灯	 バー1本	 バー2本	 バー3本
貯湯量 (目安)	約20L未満 (ピピピピ) ※	約20L以上 約50L未満 ※(ピピピピ)	約50L以上 約115L未満	約115L以上 約200L未満	約200L以上

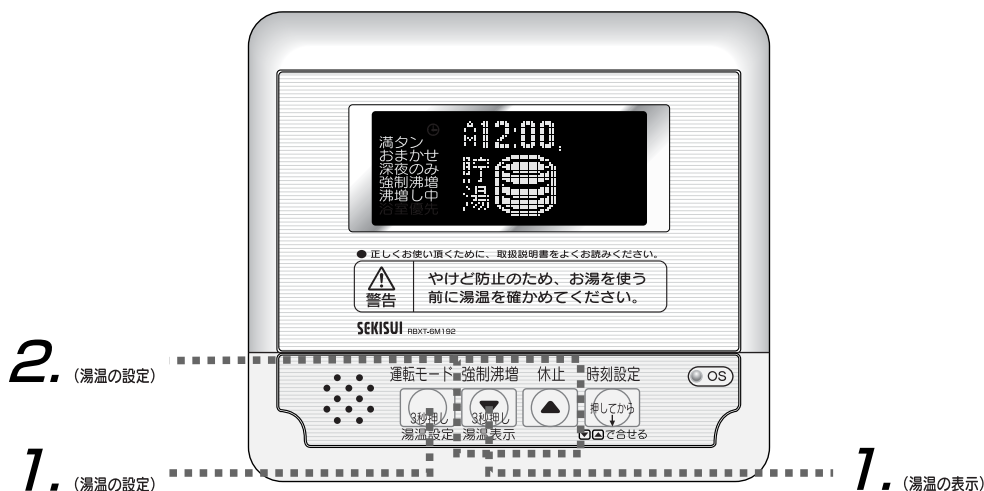
※残湯量が少なくなると、リモコンのブザー音でもお知らせします。

湯切れを防止するためのお願い

- 湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に貯湯量の確認を行ってください。
貯湯量が不足しそうなときは、事前に「強制沸増」を利用してください。(→17ページ)
- 安価な深夜電力でお湯を貯めて、上手に使っていただく温水器です。
使いすぎに注意してください。

沸上げ温度の設定と湯温の表示

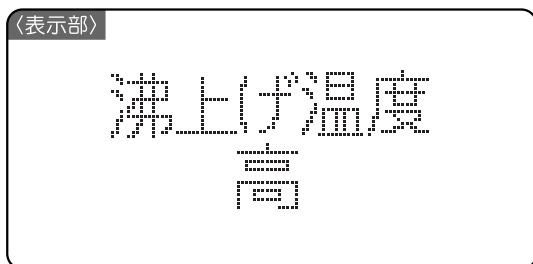
- ご使用湯量に合わせて、沸上げ温度の設定ができます。
- 電気温水器内に残っているお湯の温度を確認できます。




湯温の設定

1.  を3秒以上押します。

- 設定表示に切り替わります。



2.  を押し、沸上げ温度を選択します。

- 設定が切り替わり点滅します。



設定	沸上げ温度 (目安)
「自動」	約65℃～約90℃ 給水温度に応じて沸上げる温度を自動調整します。
「低」	約65℃に固定します。
「高」	約90℃に固定します。

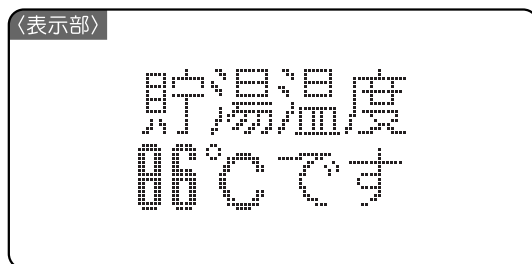
そのまま10秒経過すると設定完了です。

- そのときの表示で設定され、通常の表示に戻ります。

湯温の表示

1.  を3秒以上押します。

- 湯温表示に切り替わります。



- 貯湯温度は缶体上部位置 (20L) の温度です。
- そのまま30秒経過すると通常の表示に戻ります。

準備

3 オプション設定

オプション設定

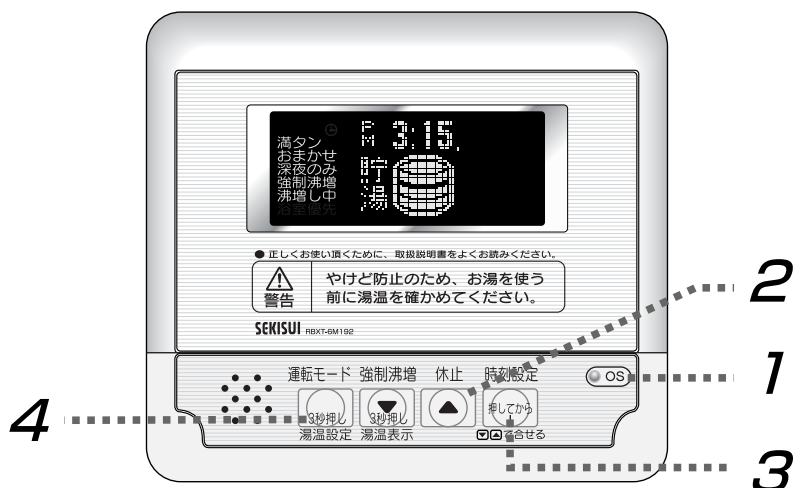
○故障時の連絡先の電話番号登録やリモコンの音量、明るさなどの設定ができます。

○オプション設定の種類

NO.	表示	内容	お買い上げ時の設定	設定できる範囲	ページ
1	TEL登録	故障時の連絡先（販売店）の電話番号を登録します	—	（電話番号入力）	14
2	メイン音量	メインリモコンの音量を設定します	中	無・小・中・大	15
3	リモコン操作音	メインリモコン操作音の有／無を設定します	有り	有り・無し	16
4	メイン輝度量	メインリモコン表示部の輝度量を設定します	明	暗・明	16

オプション設定（電話番号登録）

○故障時の連絡先（販売店）の電話番号を登録することができます。

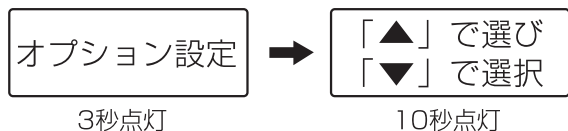


故障時連絡先（販売店）登録

1. **OS** を押します。

お願い

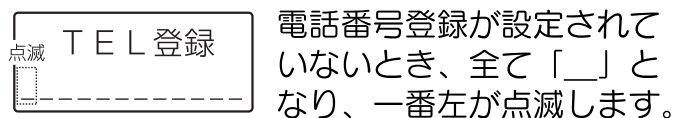
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



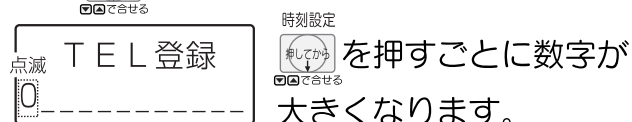
お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の見出しにもどります。

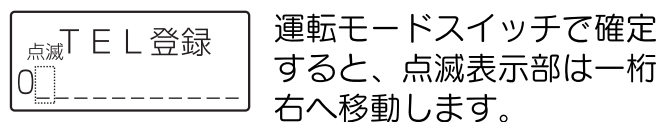
2. オプション設定モード中に **▲** を押し、「TEL登録」を選択します。



3. **時刻設定** を押し、番号を選択します。



4. **時刻設定** を押し、確定します。



5. 3、4の手順を繰り返し、電話番号を設定します。右端が点滅のとき

時刻設定 を押しと先頭に戻ります。

(例) 電話番号 03-XXXX-XXXX のとき

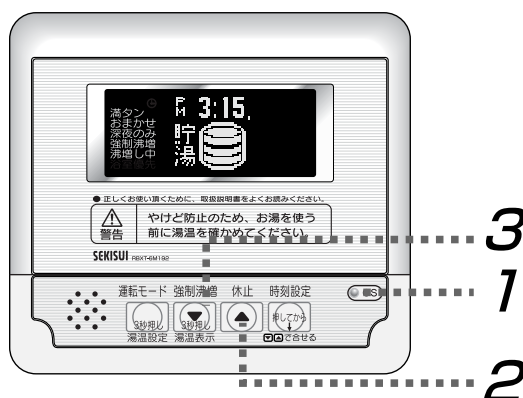


お知らせ

- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確認し、通常の見出しに戻ります。
- **▲** を押しと、次の設定項目に移行します。

オプション設定（メインリモコン音量）

○メインリモコンの音声ガイド音量を設定します。



メインリモコン音量設定

1. **OS** を押します。

お願い

- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。

オプション設定

3秒点灯

「▲」で選び
「▼」で選択

10秒点灯

お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に **▲** を押し、「メイン音量」を選択します。

メイン音量

無小中^{点滅}大

点滅

お買い上げ時は「中」が点滅します。

3. **強制沸騰** を押し、点滅部を切り替えます。

メイン音量

無小中^{点滅}大

点滅

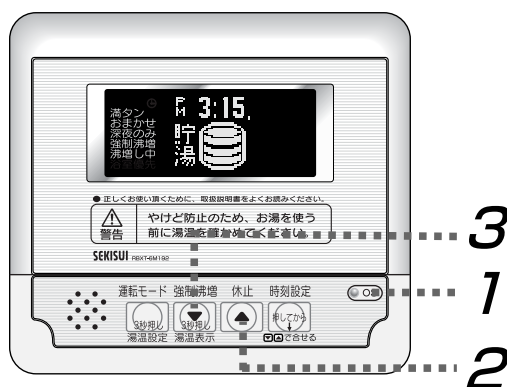
強制沸騰 を押すたびに、設定が切り替わります。

お知らせ

- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
- **▲** を押すと、次の設定項目に移行します。

オプション設定（メインリモコン操作音・メインリモコン輝度量）

- メインリモコン操作時の音の有／無を設定します。
- メインリモコンの表示部の輝度量（明／暗）を設定します。

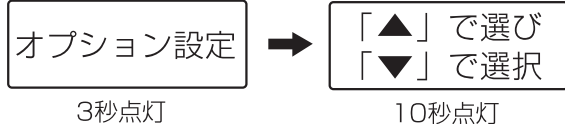


メインリモコン操作音 有／無設定

1. **OS** を押します。


お願い

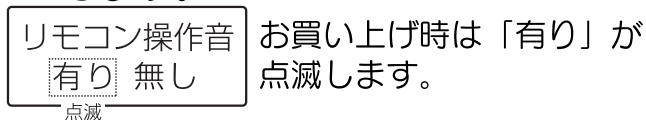
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



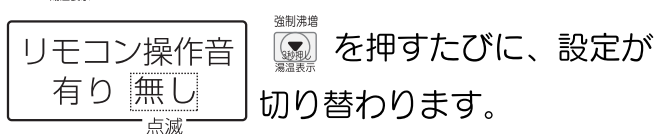
お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。


2. オプション設定モード中に  を押し、「リモコン操作音」を選択します。



3.  を押し、点滅部を切り替えます。



お知らせ

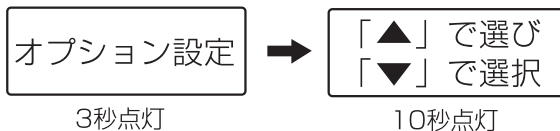
- スイッチ操作が10秒以上ないときは、設定を確定し、通常の表示に戻ります。
-  を押し、次の設定項目に移行します。

メインリモコン輝度量設定

1. **OS** を押します。


お願い

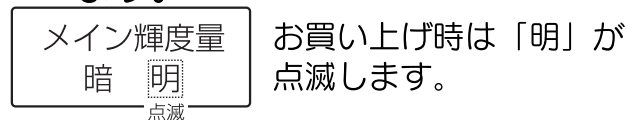
- ボールペンの先のようなもので押ししてください。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）
- 次のように表示され、オプション設定モードになります。



お知らせ

- 10秒経過するとオプション設定モードが解除になり、通常の表示にもどります。

2. オプション設定モード中に  を押し、「メイン輝度量」を選択します。



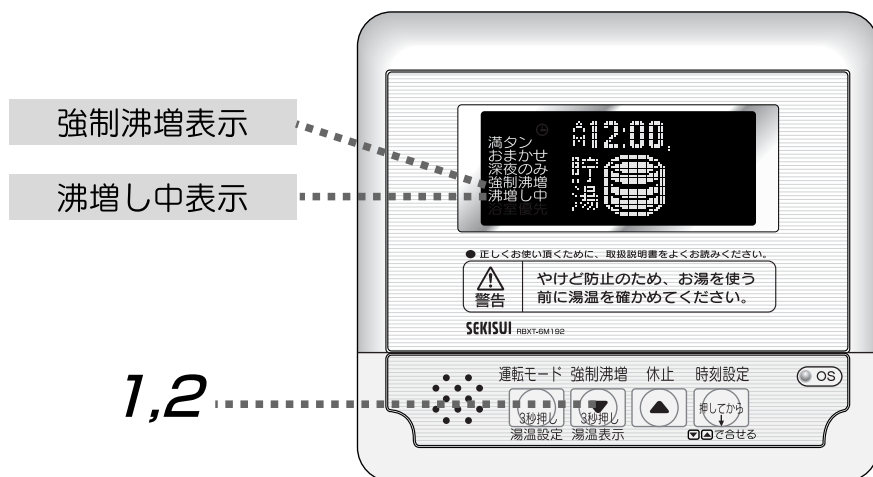
3.  を押し、点滅部を切り替えます。



4 このようなときは

湯切れしそうなき（強制沸増）

○湯切れしそうなきは（目安として残湯量少表示が点灯したとき）、強制沸増を使用して電気温水器のお湯を沸増してください。（強制沸増は「時間帯別電灯」でご契約のお客様は24時間利用できますが、「深夜電力」でご契約のお客様は夜間時間帯のみ利用できます。）



1. を押します。

- 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、沸上げます。
- 115Lまで沸上げたら、沸増は終了します。（貯湯量表示がバー1本になった直後に強制沸増を押したときは、115Lまで完全に沸上がらないことがあります。）

2. 途中でやめるときは、もう一度 を押します。

お知らせ

- 強制沸増を押したとき、1回のみ沸上げを行います。
- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 昼間時間帯で強制沸増を使用すると、電気料金は割高になります。
- 強制沸増は115L沸上げるか、4時間経過すると、自動的に終了します。

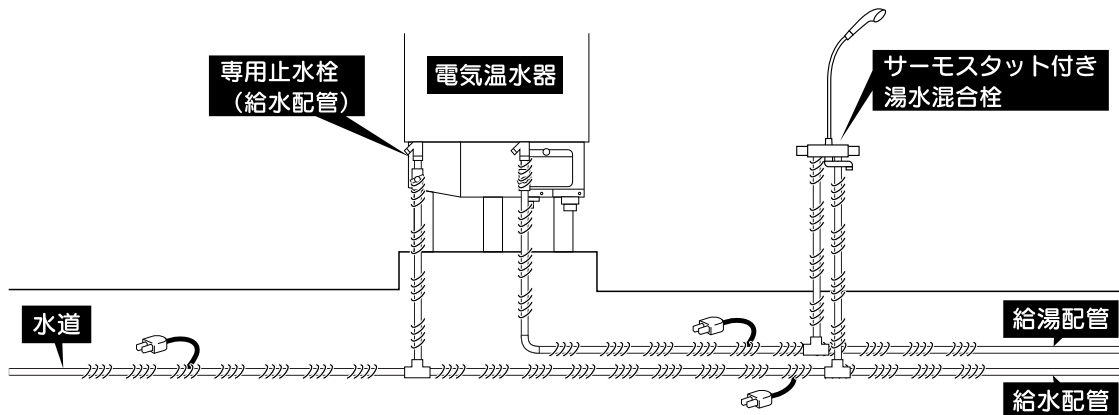
冬期の凍結予防について

- 冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
- 販売店または据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

凍結防止ヒータ（配管の凍結予防）

- 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

※イラストは、300Lタイプを示しています。



⚠ 注意

● 配管の凍結防止対策を確認する。

凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

● 電源を「OFF」にしない。

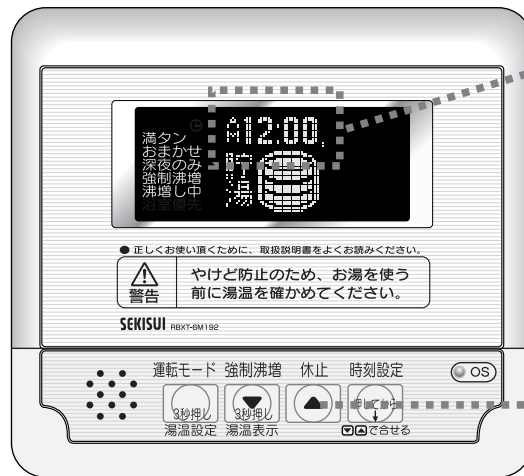
冬期は凍結して機器が破損することがありますので電源を「OFF」にしないでください。

お願い

- 配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水配管）を閉じて、販売店または据付工事店へご連絡ください。

数日間お湯を使用しないとき

○旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸上げを停止させることができます。



使用再開日数表示部

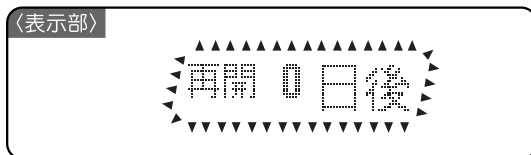
お買い上げ時の設定
0日(なし)

設定できる範囲
0日~15日(1日刻み)

1,2,4

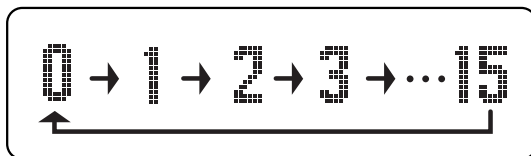
1. を押します。

- 時刻表示から、使用再開日数表示に変わり、数字が点滅します。



2. を押し、期間を設定します。

- 押すごとに1日ずつ期間が長くなります。



3. そのまま5秒経過すると設定完了です。

- 表示は点滅から点灯に変わります。

(設定例1)

12月1日に出発し、12月5日に帰宅する4泊5日の旅行の場合。(1日は入浴せず、5日は入浴する。)

4 泊 5 日

出発日(12月1日)に使用再開日数を「4」日後に設定

(設定例2)

使用再開日数を「1」日後に設定した場合、設定したときから午後11時(夜間時間帯開始時刻)までの沸上げが停止します。

4. 休止中を停止する場合

 を押します。

お知らせ

- 電源を「OFF」にしないでください。凍結のおそれがある気温になると、電気温水器内は凍結防止ヒータで凍結を予防します。
- 1箇月以上の休止期間の場合は、次ページの操作を行ってください。

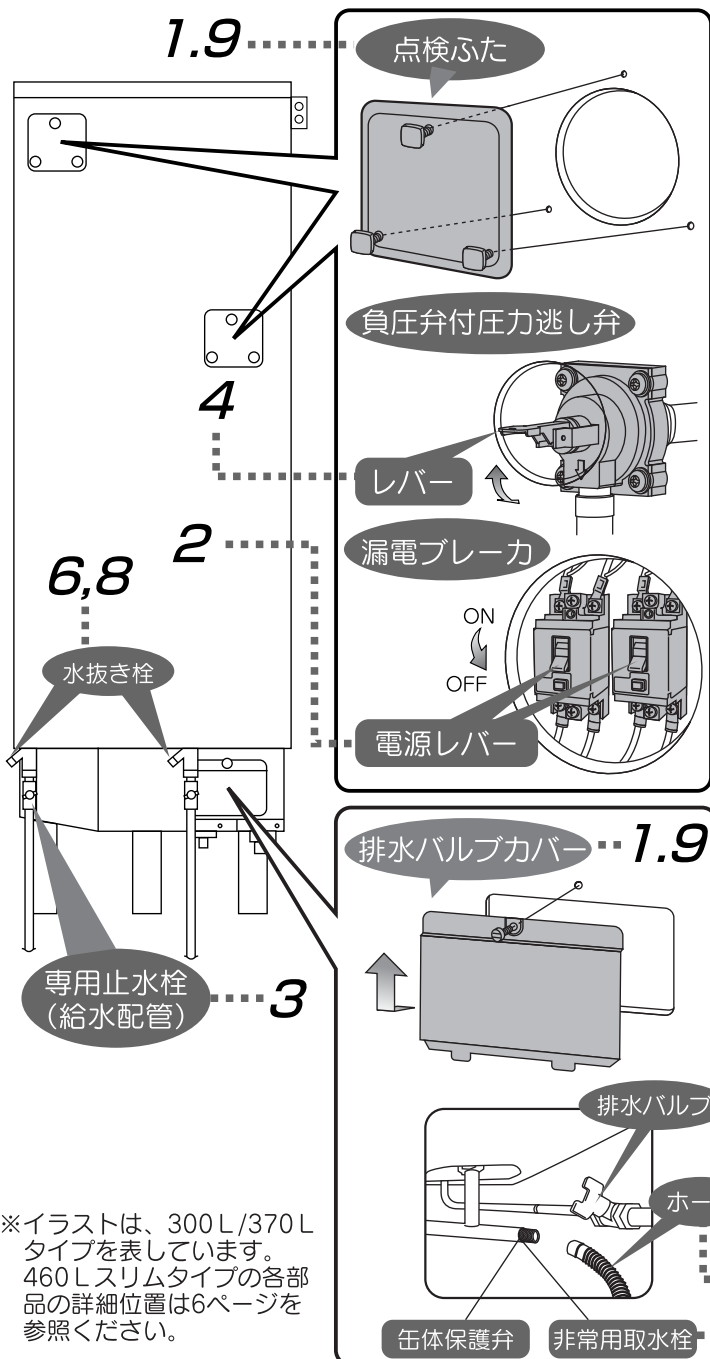
長期間お湯を使用しないとき

- 1箇月以上ご使用されないときは、運転を止め電気温水器の水を抜きます。
- 排水をするときは、やけどなどの防止のため、電気温水器のお湯を使いきって（水の状態にして）から行ってください。
- 凍結する恐れのある地域でご使用の場合は、販売店（工事店）に連絡し機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

⚠注意

- 1箇月以上使用しないときは、電源を「OFF」にして電気温水器の排水をする。
排水しないと水質が変化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

電気温水器



1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。
2. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。
3. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
4. 電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。
5. 電気温水器の排水バルブ（1箇所）を開きます。
●水が抜けるまでに約30分かかります。
6. 電気温水器の水抜き栓（2箇所）を開き、バケツ等の容器で受けます。
●配管の途中に水抜き栓が設けられているときは、これも開きます。
7. 排水口に差し込まれているホースの先端をはずし外に引き出して、非常用取水栓も開きます。

※イラストは、300L/370Lタイプを表しています。460Lスリムタイプの各部位の詳細位置は6ページを参照ください。

8. 排水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、ホースの先端を元にもどし、すべての水抜き栓と排水バルブを元どおり閉じます。
9. 負圧弁付圧力逃し弁のレバーを下げて電気温水器の排水バルブカバーと点検ふた（2箇所）を元どおり取り付けます。

警告

- 排水時はお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

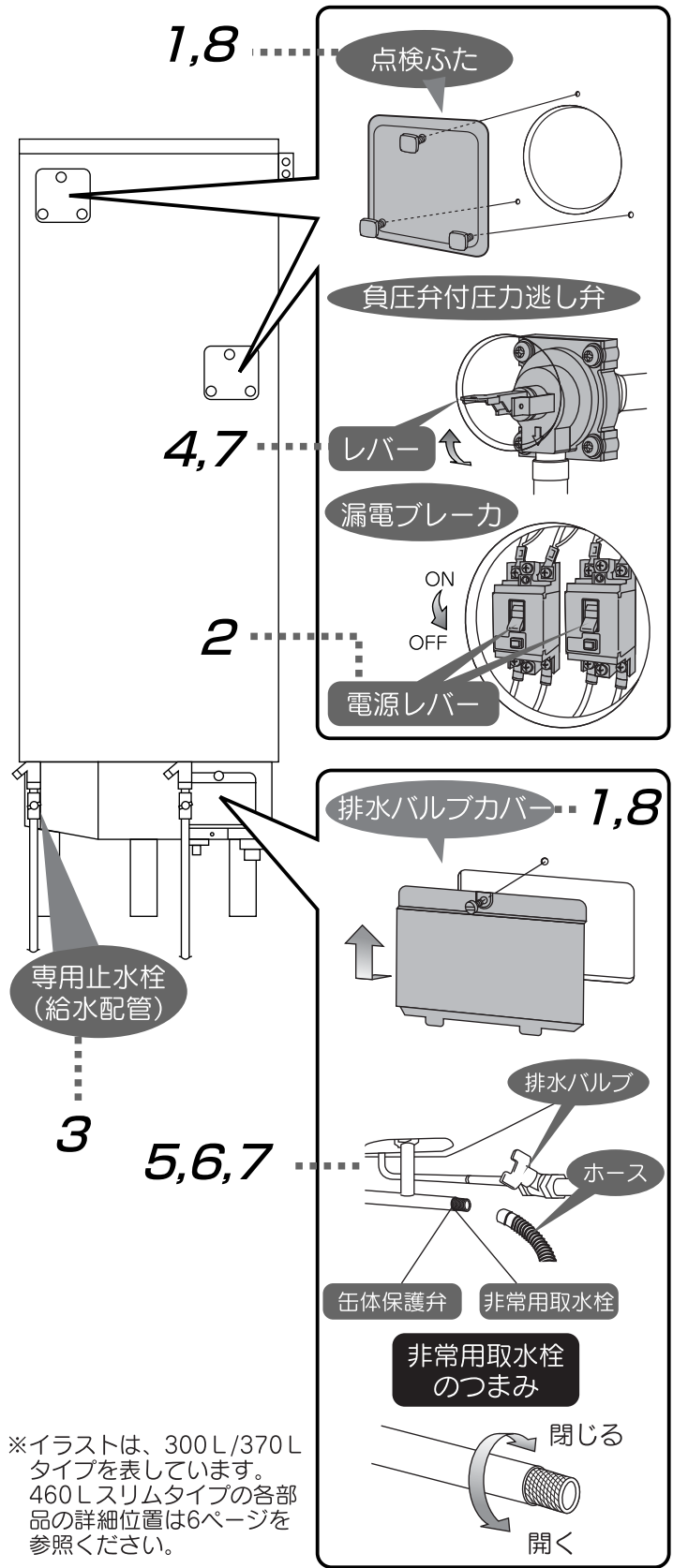
お願い

- 再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→8ページ）の手順の準備作業を行ってください。
- 水抜き作業後に負圧弁付圧力逃し弁のレバーがさがっていること、排水バルブ、水抜き栓、非常用取水栓が閉じていることを確認してください。

非常用取水栓の使い方

○万一の地震などの災害時は、電気温水器内のお湯（水）を生活用水として利用できます。

電気温水器



準備するもの
容器（ポリタンク、バケツなど）

警告

- 取水時はお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。やけどをすることがあります。

注意

- そのまま飲用に用いない。
長期間のご使用により、電気温水器内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。

1. 電気温水器の点検ふた（2箇所）と排水バルブカバーを取りはずします。
2. 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。
3. 専用止水栓（給水配管）を閉じます。
4. 電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーをあげます。
5. 排水口に差し込まれているホースの先端をはずし、外に引出します。
6. 非常用取水栓を開き、容器に受けます。
7. 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、ホースの先端を元にもどし、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげます。
8. 排水バルブカバーと点検ふた（2箇所）を元どおり取り付けます。

お願い

- 再びご使用になるときは「はじめてご使用になるとき」（→8ページ）の手順の準備作業を行ってください。

このページは

停電したときや断水・水道工事が行われるとき

停電により時刻が止まってしまった場合

- 停電が4時間以上継続した場合は、時刻表示が「-:-」を点滅してお知らせします。
(短時間の停電であればメモリ機能により保存されますので、以下の操作は必要ありません。)

再設定が必要な機能

- 次の機能はお買い上げ時の設定に戻りますので、ご使用の状態に合わせて再設定してください。

再設定が必要な機能	説明ページ
時刻合わせ	→ 9ページ
運転モードの設定	→10ページ
沸上げ温度の設定	→12ページ
オプション設定	→13ページ

お知らせ

- 「時間帯別電灯」でご契約のお客様は時刻合わせをしないと沸上げできません。

作動が停止または解除される機能

- 次の機能は作動が停止または解除されますので、もう一度操作してください。

作動が停止または解除される状態	説明ページ
強制沸増	→17ページ
休止	→19ページ

断水や近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
○工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

お知らせ

- 濁った水が電気温水器内のストレーナを目詰まりさせ、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

お願い

- 断水している時はお湯を使用しないでください。お湯を使用されるとエラーコードを表示する場合があります。

定期点検（有料）

○電気温水器を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行ってください。

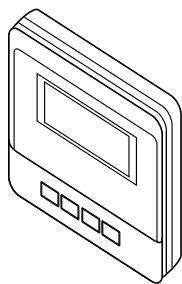
定期点検の主な内容

○定期点検については、据付工事店（販売店）または株式会社コロナへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（負圧弁付圧力逃し弁、減圧弁）などの点検、および消耗部品の交換。
清掃	電気温水器内の清掃。（沈殿物の除去など）

●給水器具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて、4～6年に1回程度の点検（有料）をおすすめします。

メインリモコンのお手入れ（日常）



メインリモコン

- メインリモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

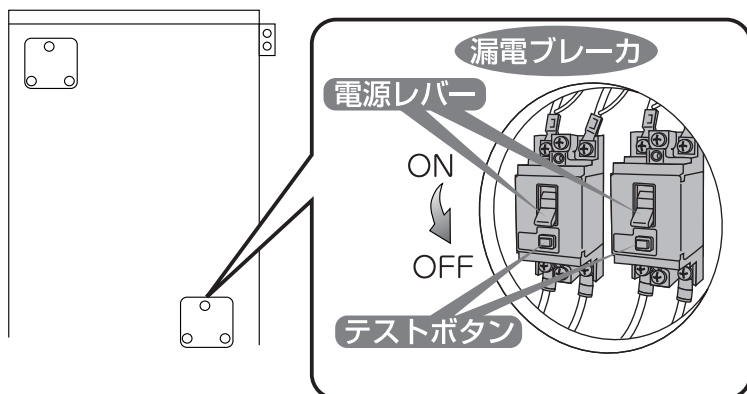
- メインリモコン内部には電気部品が入っていますので、故意に水をかけないようにしてください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

時刻の確認

- 時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認をおこなってください。ずれている場合は、時刻を合わせなおしてください。（→9ページ）

漏電ブレーカの動作点検（年に2～3回）

電気温水器



- 200V電源供給中に、電気温水器の漏電ブレーカのテストボタンを押してください。

お知らせ

- 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
- 点検終了後は、電源レバーを「ON」に戻してください。

⚠警告

- 漏電ブレーカの動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。
- ぬれた手で電源レバーを操作しない。レバー以外には手を触れない。
感電のおそれがあります。

⚠注意

- 動作確認後、点検ふたを閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

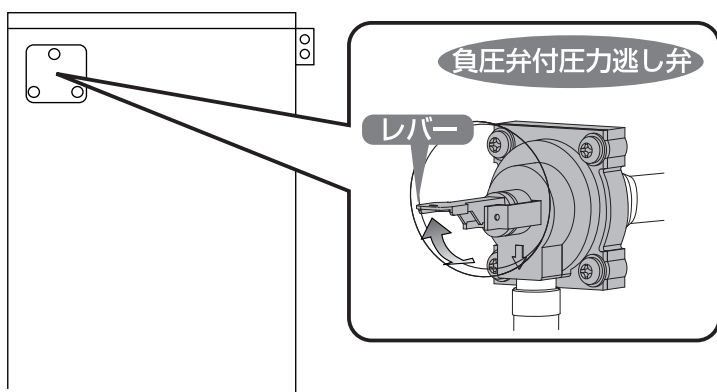
負圧弁付圧力逃し弁の点検（年に2～3回）

- 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。

⚠警告

- 負圧弁付圧力逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器



- 電気温水器の負圧弁付圧力逃し弁のレバーを2～3回上下に動かしてください。

お知らせ

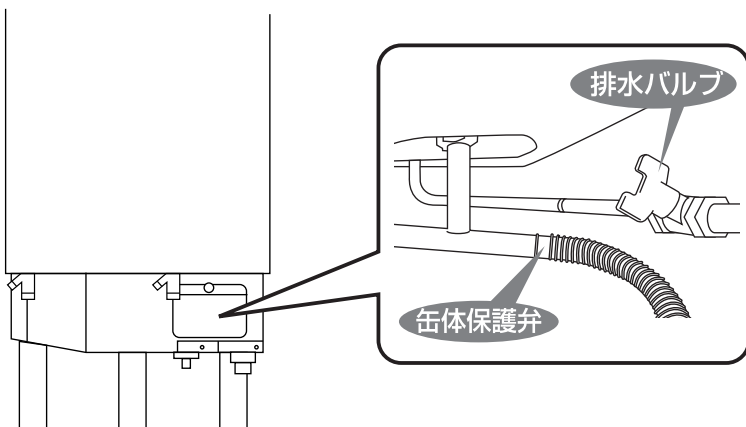
- あげたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。
- 点検終了後は、負圧弁付圧力逃し弁のレバーをさげてください。

⚠注意

- 負圧弁付圧力逃し弁の点検をする。
- 電気温水器の点検ふたは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

電気温水器のお手入れ1（年に2～3回）

電気温水器



- 電気温水器の漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にしてから点検してください。
- 電気温水器の、排水バルブ（1箇所）を開き、電気温水器内の水を排水します。
- 1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水バルブ（1箇所）を閉じてください。

⚠警告

- 排水時にはお湯に手を触れない。
- 電気温水器の内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。
やけどをすることがあります。

電気温水器のお手入れ2（年に1回）

- 「長期間お湯を使用しないとき」の手順で、機器内の水をすべて排水してください。（→20ページ）
- 排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返してください。
- 清掃完了後「はじめてご使用になるとき」の手順の準備作業を行ってください。（→8ページ）

故障かなと思ったとき

こんな時は故障ではありません

○排水口からお湯が出ている。

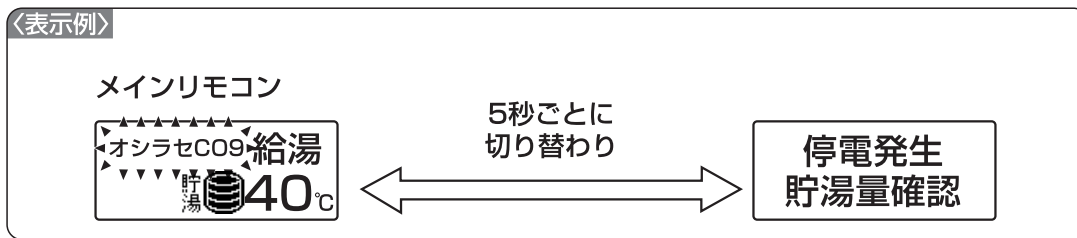
沸上げ運転時は、電気温水器内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が負圧弁付圧力逃し弁から排水されます。

○リモコンの時刻表示が「-：-」で点滅する。

停電が原因です。時刻合わせをしてください。(→9ページ)

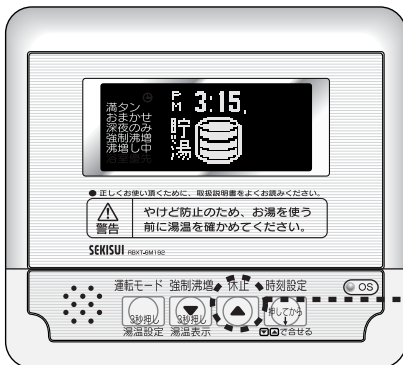
お知らせ表示（故障ではありません）

○動作の異常を検知したとき、メインリモコンに次のように表示しピピピピッと鳴ってお知らせします。その場合は、次の処置をしてください。(5秒ごとに表示が切り替ります。)



表示	原因	処置
C09	深夜時間帯に2時間以上の停電があり、沸上がらなかったとき	強制沸増などを行って貯湯量を確保してから行ってください。(→17ページ)

お知らせ表示を解除するとき



1. お知らせ表示の解除をする場合は「休止」のスイッチを押します。

エラー表示

○機器に異常が発生したときリモコンに次のように表示し、ピピピピッと鳴って異常をお知らせします。（メインリモコンは5秒ごとに表示が切り替わります。）

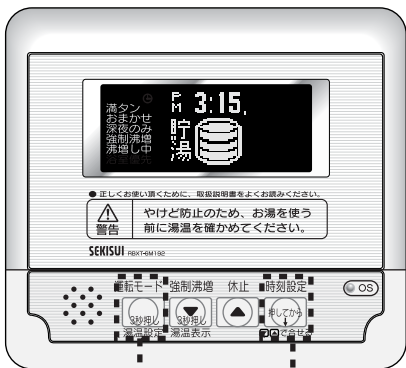


お知らせ

- 「エラー***TEL***」や「エラー***修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。
- 「代替運転中」と表示されたときは、機器は作動しています。（一部機能が使えない場合があります。）

表示	原因	処置
E02~E42	電気温水器 関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。 再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
E37	別売品の 漏水センサ作動	電気温水器の専用止水栓（給水配管）を閉じ、お買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

エラー表示を解除するとき



1.

1. 「運転モード」と「時刻設定」を同時に5秒以上押す
 - エラー表示が消え、通常表示に戻ります。

※再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。

故障かなと思ったとき

故障かなと思ったとき（表示がない場合）

○次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合はお買い上げの販売店（工事店）までご連絡ください。

症状	原因	処置
リモコンの表示部が点灯しない （電源が入らない）	・200Vブレーカが「OFF」になっている。	ブレーカを「ON」にしてください。
	・漏電ブレーカの電源レバーが「OFF」になっている。	ブレーカを「ON」にしてください。 再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまでまってください。
リモコンの表示が暗い	・リモコンの輝度設定が「暗」になっている。	リモコンの輝度量を「明」にしてください。 （→16ページ）
音声案内をしない 音声案内が小さい	・リモコン音量が「無し」や「小」になっている。	リモコン音量を「中」「大」などに設定してください。 （→15ページ）
リモコンの操作音が出ない	・リモコン操作音の設定が「無し」になっている。	リモコン操作音設定を「有り」にしてください。 （→16ページ）
お湯が出ない お湯の出が悪い	・給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開いてください。
	・断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合わせてください。
	・電気温水器内のストレーナにゴミがたまっている	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・配管が凍結している	お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯がぬるい お湯が足りない	・時計表示が点滅している	時刻設定をしてください。（→9ページ）
	・メインリモコンに「再開○日後」が表示している	休止スイッチを押し、沸上げ停止を取消してください。 （→19ページ）
	・沸上げ温度設定が低い	沸上げ温度が「低」、「自動」の場合は「高」にしてください。 （→12ページ）
	・沸上げ運転時以外でも、排水口からお湯（水）がでている	負圧弁付圧力逃し弁の点検をしてください。（→26ページ） 止まらない場合は、お買い上げの販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。
	・いつもに比べてお湯をたくさん使用した	強制沸増を行ってください。（→17ページ）
貯湯量表示の減り方が早い	・外泊などで1日以上お湯を使用していない	貯えられたお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』（以下安衛法）が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の『100kPa以下』から『200kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

安衛法の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

簡易ボイラー：安衛法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積40kW以下・水頭圧100kPa超え200kPa以下の給湯器です。安衛法が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。
※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

(1) 設置報告

(事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。)

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要があるため、事業者は小型ボイラー設置報告書に構造図^{*1}及び小型ボイラー明細書^{*1}並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面^{*2}を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行なってください。

※2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

1.事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書(様式第26号)に機械等 検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書(同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。)並びに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

(2) 定期自主検査

(事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。)

事業者様は、小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本 体	・製品本体からの漏れの有無 ・負圧弁付圧力逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・漏電遮断器の動作状況 ・タンクの手入れ
配 管	・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の(24~26ページ)「定期点検、お手入れと日常点検」を参照してください。なお、自主検査を行なった後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

- 1.事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期的に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。
 - (1) 小型ボイラーにあつては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無。
 - (2) 小型圧力容器にあつては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は摩耗の有無。
- 2.事業者は、前項ただし書の小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号に掲げる事項について自主検査を行わなければならない。
- 3.事業者は、前2項の自主検査を行なったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

○『労働安全衛生法施行令』改正について

(3) 特別教育

(事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。)

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の科目

- ①ボイラーの構造に関する知識
- ②ボイラーの付属品に関する知識
- ③関係法令
- ④小型ボイラーの運転及び保守
- ⑤小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお、特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行なってください。

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

- 1.事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。
- 2.前項の特別の教育は、次の科目について行なうものとする。
 - 1 ボイラーの構造に関する知識
 - 2 ボイラーの付属品に関する知識
 - 3 燃料及び燃焼に関する知識
 - 4 関係法令
 - 5 小型ボイラーの運転及び保守
 - 6 小型ボイラーの点検
- 3.安衛則第37条及び38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

事業者様へのご案内

○『労働安全衛生法施行令』改正について

(4) 事故報告

(高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。)

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故等が発生したときは、遅滞なく様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

■適用法令→労働安全衛生規則第96条

- 1.事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。
(1～2略)
- 3.小型ボイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき (以下略)

仕様

型 式 名		KSH-30M192	KSH-37M192	KSH-46M192S
ボイラー区分		小型温水ボイラー		
適用電力制度		時間帯別電灯/深夜電力(8時間)通電制御型		
設 置 場 所		屋内外用		
缶 体 容 量		300リットル	370リットル	460リットル
定 格 電 圧	時間帯別契約時	単相200V		
	深夜電力契約時	単相200V+単相200V(制御用)		
定 格 消 費 電 力	上部ヒータ※1	3.5kW	4.4kW	5.4kW
	下部ヒータ※1	3.5kW	4.4kW	5.4kW
	制 御 用	9W		
	凍結防止ヒータ	約60W		
外 形 寸 法	高さ	1890mm	1880mm	2220mm ※2
	幅	600mm	630mm	630mm
	奥行	610mm	730mm	730mm
質 量	製品質量/満水時質量	63kg/363kg	72kg/442kg	86kg/546kg
最高使用圧力		190kPa(減圧弁設定圧：170kPa)		
安 全 装 置		自動温度調節器、温度過昇防止器、漏電ブレーカ 過圧防止弁、からだき電極		
配 管 口 径		給水口、給湯口→R3/4(おねじ)、排水口→Φ40mm		
沸 上 げ 温 度		約65℃～約90℃		
貯 湯 機 能		おまかせ、満タン、深夜のみ		

※1：上部ヒータと下部ヒータが同時に通電することはありません。

※2：分割脚120mm含む。

- 故障、修理については、お買い求めの販売店、工事店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。当社又は、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

据付工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

- 保証書は電気温水器に添付されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から2年間です。
ただし缶体内部のヒーターは3年間、缶体は5年間です。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切り後10年です。
- 次のような原因による故障及び、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）
 - 誤った使用方法による故障や事故。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水をご使用になったことに起因する不具合。
 - 凍結による故障・破損。
 - 当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

修理を依頼されるとき

- 本書の「故障かなと思ったとき」（27～29ページ参照）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い求めの販売店、又は、☎0120-917-567にご連絡ください。
 - 保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは…

- お買い求めの販売店にご相談ください。
 - 修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料修理いたします。

時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定

電力契約について

この電気温水器に適用できる電力契約は、「時間帯別電灯」と「深夜電力」があります。工場出荷時の電気温水器内部の配線は「時間帯別電灯で使用する場合①」の設定になっています。

「時間帯別電灯」：夜間時間帯（23時～7時）（※1）に沸上げを行ないます。湯切れの心配があるとき、昼間時間帯（7時～23時）でも沸増することができます。（※2）

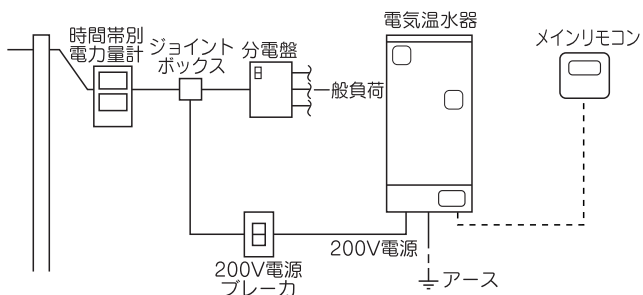
「深夜電力」：夜間時間帯（23時～7時）のみに沸上げを行ないます。昼間時間帯（7時～23時）での沸増はできません。

※1：北海道電力株式会社管内では、契約内容により、夜間時間帯の開始時刻が異なる場合がありますので、お買い求めの販売店又は、工事店へお問い合わせください。

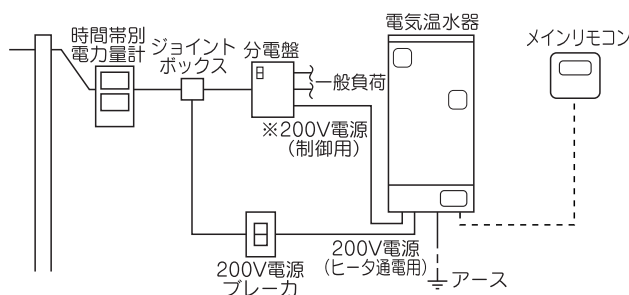
※2：昼間時間帯で沸増する場合は、電気料金が割高になります。

配線例（時間帯別電灯契約）

時間帯別電灯で使用する場合①
《制御用電源を同一回路で使用する場合》

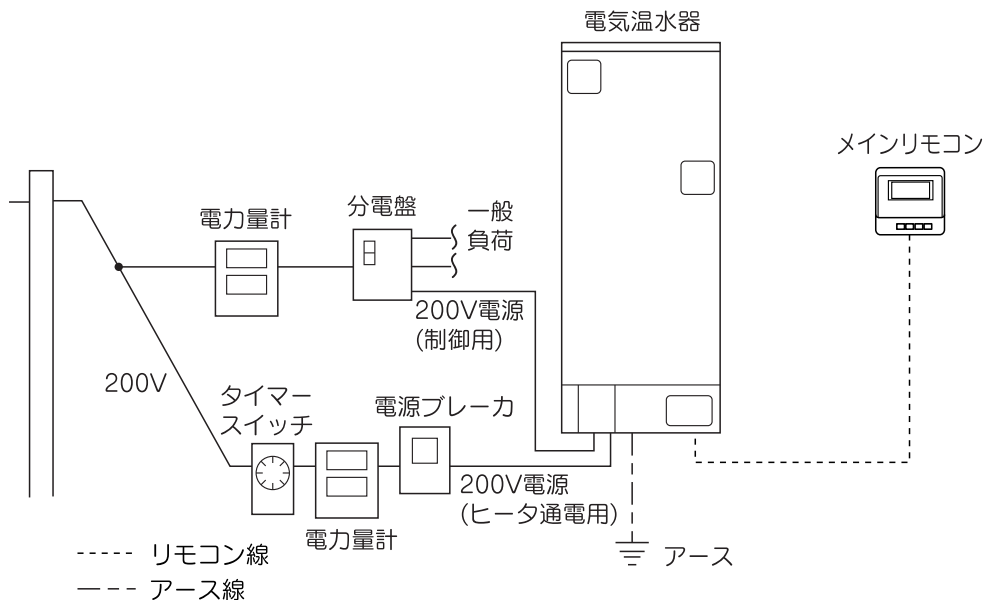


時間帯別電灯で使用する場合②
《制御用電源を別配線する場合》



----- リモコン線
----- アース線

配線例（深夜電力契約（8時間））



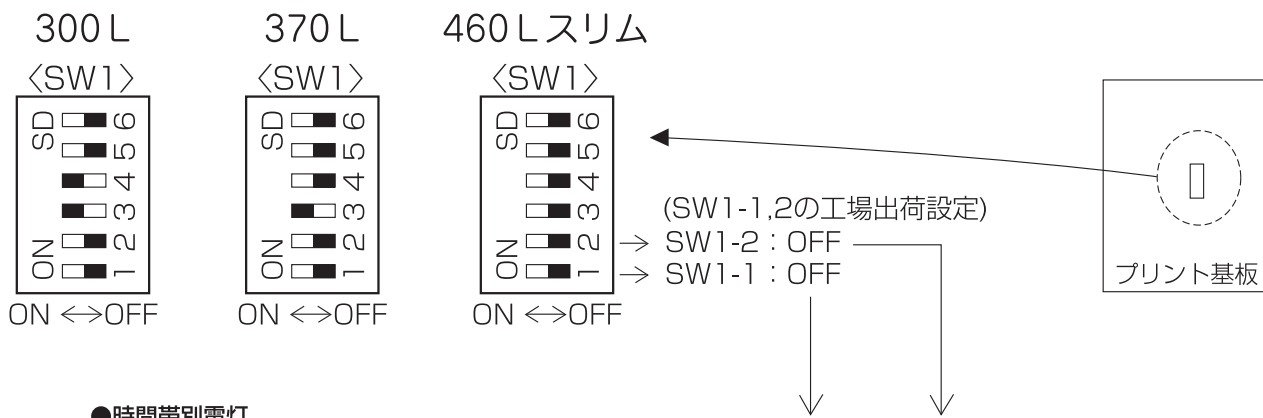
----- リモコン線
----- アース線

時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定

- 電力契約には、時間帯別電灯契約と深夜電力契約（8時間）があります。
- 時間帯別電灯契約の中でも電力会社によっていろいろなプランがあります。
各プランに合わせた設定を行ってください。
- 設定はプリント基板内中央の切替えスイッチ（SW1）のNo.1、2にて行います。
この設定により各プランに合わせた沸上げ制御を行います。

時間帯別電灯契約/深夜電力契約の設定は、切替スイッチ(No.1、2)の操作のみで自動的にリセットされ設定が変更されますので、その後再度時刻設定しなおしてください。

※No.3～6は、機種により設定が違います。工場出荷設定のまま変更しないでください。



●時間帯別電灯

電力会社	名 称	設 定		備 考	
		SW1-1	SW1-2		
北海道電力	ドリーム8	Aパターン	OFF	ON	工場出荷設定のまま
		Bパターン	OFF	OFF	
		Cパターン	ON	ON	
東北電力	やりくりナイト8	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	やりくりナイト10	ON	ON		
	やりくりナイトS	ON	ON		
東京電力	おトクなナイト8	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	おトクなナイト10	ON	ON		
	電化上手	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
中部電力	タイムプラン	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	Eライフプラン	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	わくわくホット	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
北陸電力	エルフナイト8	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	エルフナイト10	ON	ON		
	エルフナイト10プラス	ON	ON		
関西電力	はぴeタイム	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
中国電力	エコミーナイト	ON	ON		
	ファミリータイム（プランⅠ）	ON	ON		
	ファミリータイム（プランⅡ）	ON	ON		
四国電力	得トクナイト	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
	電化Deナイト	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	
九州電力	よかナイト10	ON	ON		
	電化deナイト	ON	ON		
沖縄電力	Eeらいふ	OFF	OFF	工場出荷設定のまま	

●深夜電力契約時の設定

電力会社	名 称	設 定		備 考
		SW1-1	SW1-2	
全電力会社	深夜電力契約	ON	OFF	

MEMO

株式会社 **コロ+**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7 TEL(0256) 32-2111 (大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは  **0120-917-567 (365日24時間受付け)**